

令和5年度行動計画の進捗状況について

1 概要

- ・令和4年度行動計画の進捗管理と同様に、第4期中期目標期間に係る業務実績の評価から評価指標の達成状況に重きが置かれることから、令和5年度においても評価指標を中心に確認を行った。
- ・具体的には、担当理事・担当事務部から令和5年度実績の自己評価を踏まえ、学長及び評価担当副学長による担当理事へのヒアリングを行い、最終的な進捗状況の確認を行った。
- ・その結果、令和5年度行動計画（全44計画）の進捗状況は以下とおりであり、概ね予定どおり進捗している。

評価	計画数	割合
計画が予定を超えて進捗している。	9	20%
計画が予定通り進捗している。	22	50%
計画の達成に向け強化が必要。	13	30%

2 優れた取組・特色ある取組

(1) 社会共創推進の取組

①やまがた社会共創プラットフォームでの取組

・やまがた進学大交流フェスタ

令和5年10月14日（土）に、山形県内の特色ある高等教育機関の魅力を発信するための「やまがた進学大交流フェスタ」を実施した。

会場では山形県内高等教育機関がブースを設置し、各ブースでは在校生・卒業生・教職員から直接話が聞ける機会が設けられ、延べ約200名の高校生・保護者の方から参加した。



山形大学ブースの様子

- ・シンポジウム『農村地域のレジリエンス力強化戦略：カーボンニュートラルと地域防災』
令和5年11月22日（水）に、「シンポジウム『農村地域のレジリエンス強化戦略：カー

『ボンニュートラルと地域防災』が開催された（主催：山形大学/協力：山形県環境エネルギー部・飯豊町・やまがた社会共創プラットフォーム）。

本シンポジウムは、令和4年4月に本学が公表した将来ビジョン「つなぐちから。山形大学」の具現化を図るための飯豊町で実施している地域防災とカーボンニュートラルの活動を、やまがた社会共創プラットフォームも活用し、山形県内自治体をはじめとする地域へ広く紹介し、人口減少が続く農村地域のレジリエンス力強化戦略を考える機会として開催されたものである。

当日は、山形県内自治体等から43名の参加があったほか、山形県職員育成センターのオンライン講座として配信され、9団体が受講した。

飯豊町 × 山形大学 農村地域のレジリエンス力強化戦略
カーボンニュートラル & 地域防災

参加無料 先着100名

2023.11.22 水
 13:00-16:00 メトロポリタン山形
 一般の方 1,000円(税込) 2023.11.17日よ

講演① 豪雨災害等に対する地域防災の取り組み
山形大学 教授 本山 功 (山形大学災害復興・防災研究センター長)

講演② 飯豊町におけるカーボンニュートラルの取り組み
飯豊町 町長 小野 龍太郎 (山形大学農林経済学部) / 山形大学 助教授 梶原 光希 (山形大学SDGs推進委員)

シンポジウム レジリエンス強化のための「山形モデル」の展開
ファシリテーター (山形大学 2023 年度 教授 梶原 光希) / パネリスト (山形大学 助教授 梶原 光希 / 山形大学 准教授 小野 龍太郎 / 山形大学 准教授 大野 隆 / 山形大学 准教授 本山 功)

主催 山形大学・山形県・飯豊町・やまがた社会共創プラットフォーム
山形大学 山形県環境エネルギー部 山形県職員育成センター
 〒980-8577 山形県山形市 山形大学 山形県職員育成センター TEL 023-622-1475 / 山形県職員育成センター TEL 023-622-1475



シンポジウム会場の様子

・第2回社会共創ワークショップ『移住・定住を考える～山形の魅力とは～』

令和4年度に引き続き、令和5年12月6日（水）に「第2回 社会共創ワークショップ『移住・定住を考える～山形の魅力とは～』」を開催し、やまがた社会共創プラットフォームの加盟機関から30名の参加があった。

第2回のテーマは、前回のワークショップ後のアンケートにおいて、開催希望が多かった「移住・定住」とし、山形県内自治体・経済団体等・高等教育機関それぞれの立場から意見交換するとともに、山形県の課題や施策につながるきっかけを創る場とすることを目的として開催されたものである。

当日は、本学の下平裕之教授をファシリテーターとし、多様なバックグラウンドを持つ、県内在住者5名でのパネルディスカッションを行った後、参加者によるグループワークが行われた。



②やまがたりカレント教育アカデミーの構築

文部科学省の令和4年度「地域ニーズに応える産学官連携を通じたリカレント教育プラットフォーム構築支援事業」に採択され、山形県内におけるリカレント教育を推進するために、「やまがたりカレント教育アカデミー」を構築した。

山形県民にリカレント教育内容を広く周知し、気軽に受講いただくため、情報をワンストップで入手できるポータルサイトとなっている。当ポータルサイトを通じて、「継続した学び」を支援していく予定である。

- ・やまがたりカレント教育アカデミー

<https://recurrent-ea.kj.yamagata-u.ac.jp/>



③やまがたりグローバル人材育成コンソーシアムの活動

産学官の事業資源を持ち寄りながら、県内で学ぶ学生と社会人を対象にグローバルな視野を持って地域発展に貢献できる人材育成を一元的に推進した。令和5年度に実施した各種事業には、留学生と社会人合わせて延べ439名が参加した。また、地域留学生数の増加を図るため、東京都内の日本語学校で開催された進学フェアに参加し、222名（9校）の参加者に山形県の修学環境をアピールした。

④地域コーディネーターの配置による地域産業、地方自治体等とのネットワークを強化

令和5年度4月から新たに設置した「山形大学科学技術・イノベーション機構」において地方自治体との連携強化を図っており、コーディネーターの配置を検討している。

(2) 研究推進

①自律的な研究の推進

大型研究費にチャレンジする意欲の高い研究者および特色ある研究テーマを推進する若手研究者へ研究力強化のための総合支援パッケージにおいて、以下の支援を実施した。

- ・ 科研費アドバイザー支援制度 110 件（申請者ベース）
- ・ 科研費研究計画調書閲覧制度 69 件（R5 新規制度）
- ・ 再チャレンジ支援制度 19 件
- ・ 研究助成金応募マッチング制度 2 件
- ・ 学会発表旅費等支援制度 11 件
- ・ 国際論文掲載支援制度 50 件
- ・ 研究成果公開支援制度（文系） 5 件（R5 新規制度）
- ・ 国際共同研究支援制度 1 件（R5 新規制度）
- ・ 国際学会・シンポジウム開催支援制度 2 件（R5 新規制度）

②先端的研究を目指した組織化の推進

本学が世界をリードする研究への重点支援として、YU-COE（山形大学先進的研究拠点）(S)として7拠点への支援を実施した。また、若手研究者の支援強化という観点から YU-COE (C) 拠点数を9拠点数に増加し、重点的に支援した。

令和5年度に実施した異分野交流学会等の開催で研究者のネットワーク構築を支援し、本交流学会をきっかけにして学部の垣根を越えた複数の研究がスタートしている。次年度以降も上記の支援を実施し、全学的なネットワーク構築および優れた研究拠点の支援を継続する。

これらの取組の結果、YU-COEにおいて、目標値を上回る外部資金を獲得した。

評価指標	令和5年度目標	令和5年度実績
YU-COE（山形大学先進的研究拠点）における外部資金獲得額 8.8 億円 （令和4年度から令和9年度までの6年間の平均値）	8.5 億円	12.6 億円

③社会変革につながるイノベーションの加速

文部科学省が令和4年度補正予算に計上した「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」に本学が採択された。

同事業は、強みや特色ある研究、社会実装の拠点等を核とした研究力の向上戦略の実行に必要な共同研究や産学官によるオープンイノベーションの創出等に必要な施設の整備を支援することで、大学の機能強化を図ることが目的の事業であり、本学は東北大学及び会津大学と連携し、米沢キャンパスの山形大学GX共創センター（仮称）（現：国際事業化研究センター）及び有機エレクトロニクスイノベーションセンターの増築・改修を行う。

本学最大の強みである有機材料研究を基盤とし、環境にやさしい機能材料・次世代デバイス・製造技術におけるグリーントランスフォーメーション（GX）を推進し、社会課題に関連した環境・エネルギー・医療・農業分野への裾野の拡大を進め、国内外の社会課題解決や新産業創出などのイノベーション創出を目指す。

④未来を先導する社会実装の推進

アントレプレナーシップ教育研究センターにおいて i-HOPE、SEPS 等を実施、社会人から中高生まで幅広くアントレプレナー（起業家）人材の育成を行った。また、ウズベキスタン共和国に起業家育成プログラムの提供を開始した。

加えて、スタートアップ創出のためのアクセラレーションプログラムを実施し、みちのくGAP ファンドへ8件申請するとともに、山形大学 T-CEP にて本学の技術の用途開発を行い、社会実装の推進を図った。

⑤「健康」に関わる研究の連結・深化・拡大

本学におけるコホート研究は、これまで医学部のある飯田キャンパスにて主に行われてきた。今回、地域ゲノムコホート研究を運営していた「山形大学メディカルサイエンス推進研究所」とがん研究を担ってきた「山形大学がん研究センター」を再編・統合し、「健康」をテーマと

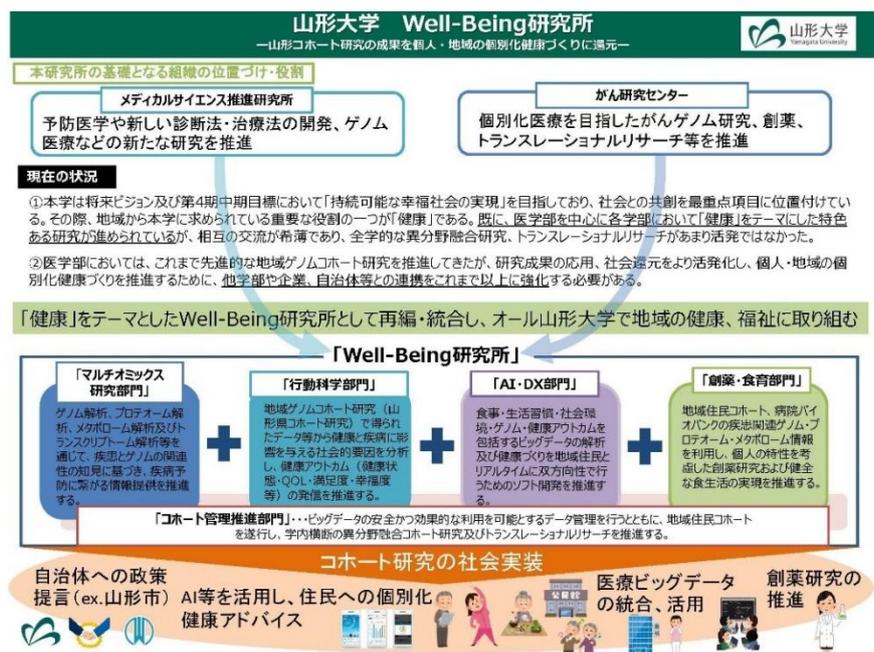
した「山形大学 Well-Being 研究所」として、再編・統合した。これまで「点」として、各学部、各教員が個別に進めてきた「健康」に関わる研究を連結し、深化・拡大させ、オール山形大学で地域の健康、福祉に取り組む予定である。

「高度医療の推進と地域連携に基づく充実した医療体制の構築」を目的として、医学部が中心となり、学内外の組織・研究分野の垣根を超えた健康、幸福づくりに資する研究を推進することにより、山形大学として、地域社会における「持続可能な幸福社会」の実現に貢献していく。

(3) 高度先進医療の提供

重粒子線治療について、令和5年度から北東北（秋田県、岩手県、青森県）の各種広報・啓発活動を重点的に実施することにより同地域における重粒子線がん治療の認知度向上及び診療患者増加を図った結果、重粒子線治療の患者数は令和5年度目標値を大きく超える662名となった。

令和5年12月14日（木）にはWEBセミナーを開催し300名の定員枠に600名以上の申込みが宮城県を中心に北東北から参加希望があった。また、令和6年2月9日（月）には、秋田県秋田市にて秋田大学附属病院の医師をパネリストに迎え、公開セミナーを開催したところ、280名もの参加があった。



低侵襲治療については、県内の医療機関から積極的に先端医療、低侵襲治療に適応のある患者を受入れ、実施件数の伸長を図った。

がん遺伝子パネル検査については、広報活動として、がん遺伝子パネル検査等の最新の情報を掲載したがんゲノム医療管理室ニュースを年4回発行し、県内の主要病院に送付している。さらに、パネル検査担当医師および担当看護師によるパネル検査に関する説明会を院内の新規採用職員研修時など3回行い、また、県内の9病院にて個別に説明会を実施し、県内のがん医療の均てん化の推進を図っている。

以上の取組により、下記のとおり評価指標の達成が予定を超えて進捗した。

評価指標	令和5年度目標	令和5年度実績
重粒子線治療患者数 600人/年 ＜達成時期：令和9年度まで＞	420件	662件
先進医療及び低侵襲治療患者数 225人（令和4年度から令和9年度までの6年間の平均値） ＜達成時期：令和9年度＞	225件	595件
がん遺伝子パネル検査実施 140件（令和4年度から令和9年度までの6年間の平均値） ＜達成時期：令和9年度＞	140件	271件

（4）業務運営

①山形大学戦略本部の見直し

山形大学戦略本部については、本学の喫緊の課題や戦略的重要事項について迅速かつ効率的に処理することを目的とするアジャイル型組織として、令和4年4月に「戦略企画室」「社会共創推進室」「DX推進室」「国際化戦略室」「SDGs推進室」「評価・IR室」「ダイバーシティ推進室」の7室から構成する組織として設置した。

令和5年度までの活動を踏まえ、令和6年4月からは「教育・戦略企画室」「社会共創推進室」「DX推進室」「ダイバーシティ推進室」「入試企画戦略室」の5室による構成へと見直しを行った。

今後も、喫緊の課題や戦略的重要事項に応じて、山形大学戦略本部の構成を見直すこととしている。

～R5年度	R6年度～	備考
戦略企画室	教育・戦略企画室	業務見直し
社会共創推進室	同左	SDGs業務追加
DX推進室	同左	
国際化戦略室	廃止	国際交流推進機構に移行
SDGs推進室	廃止	社会共創推進室に統合
評価・IR室	廃止	評価・IR委員会（全学委員会）に移行
ダイバーシティ推進室	同左	
—	入試企画戦略室	新たに設置

②「第一次山形大学デジタルトランスフォーメーション推進計画」の成果

「第一次山形大学デジタルトランスフォーメーション推進計画」によって、令和5年度においては以下の12件の取組がなされた。

- ①オンデマンドコンテンツ教材を活用した効果検証と、令和6年度以降に向けた教材作成を行った。
- ②時間割の一括設定、成績確認票の電子化、安否確認システムの導入等の学務情報システムの改修により、事務担当者の複数業務において、改善及び学生サービスの向上を図った。
- ③分散していた学生向け各種情報の周知を、システム改修後「掲示板」機能での周知に集約する方向で意向を開始した。同時にメールでも配信可能であり、周知作業の効率化につながっている。
- ④実験機器共同利用システムの整備が進み、令和6年4月から本格稼働となった。
- ⑤研究者用学内ポータルサイトのテスト版の構築が完了し、令和6年4月YU-COE（山形大学先進的研究拠点）等から先行稼働している。
- ⑥オンライン申請システムを稼働し、4キャンパスにおいてサークルに関する申請に使用している。
- ⑦AIチャットボットについては、「学外向」及び「学内教職員向」の運用となり、月平均約3,000件の問い合わせがあった。
- ⑧業務の見える化として令和5年9月までに手順書の作成を完了し、法人本部事務部を中心に業務の共通化を図った。
- ⑨生成系AIの業務活用について検証を行い、結果を取りまとめた報告書を令和6年3月に職員が使用するグループウェア上で共有した。
- ⑩アプリ作成ツール（kintone）の研修を学内講師により対面で実施し、17名が受講、内製化（DX推進）の意識向上となったほか、契約情報公開システムをkintoneに移行し、システム運用の負担が減少した。
- ⑪令和5年12月に、オンラインで1年間受講できるExcel研修を購入し、事務職員に受講を促した。
- ⑫情報系資格取得者支援として、ITパスポート試験学習教材、情報技術者試験教材提供を行うとともに、受験料の補助を行った。
（累計合格者：ITパスポート6名、情報セキュリティマネジメント試験：3名）

3 令和5年度行動計画進捗状況一覧

行動計画	達成状況
<社会共創>	
【1-1】山形大学がリードする社会共創	計画が予定を超えて進捗している
【1-2】地域社会を活性化する多様な人材の育成	計画が予定を超えて進捗している
【1-3】地域価値創出の中核となる事業の推進	計画の達成に向け強化が必要
【独自の行動計画】YU empowering with SDGs の加速	計画の達成に向け強化が必要
<教育>	
【2-1】知識集約型社会の新たな「学び」を推進する教育改革	計画が予定通り進捗している
【2-2】教学マネジメントの充実	計画が予定通り進捗している
【独自の行動計画】入学者選抜方法の改善と戦略的な入試広報の推進	計画が予定通り進捗している
【3-1】改組の効果検証に基づく教育プログラムの改善	計画の達成に向け強化が必要
【3-2】高度専門人材育成課程での実践的能力養成のための取組	計画が予定通り進捗している
【4-1】教育プログラムの見直し	計画が予定通り進捗している
【4-2】産業界等と連携したキャリア支援	計画が予定通り進捗している
【5-1】医師・看護師養成課程の高度化	計画が予定通り進捗している
【5-2】教職課程の質保証	計画が予定通り進捗している
【6-1】学生のグローバル交流拡大	計画の達成に向け強化が必要
【6-2】多様な留学生の受入れ体制の充実	計画の達成に向け強化が必要
【独自の行動計画】地域発展を担うグローバル人材の育成	計画が予定通り進捗している
【7-1】多様な個性を持つ学生に対する理解を高める取組	計画が予定を超えて進捗している
【7-2】学生の立場に立ったサポート体制の充実	計画が予定を超えて進捗している
【独自の行動計画】学生が主体的に行うプロジェクトへの支援	計画が予定通り進捗している
<研究>	
【8-1】自律的な研究の推進	計画が予定通り進捗している
【8-2】先端的研究を目指した組織化の推進	計画が予定を超えて進捗している
【9-1】本格的な産学官連携の推進	計画の達成に向け強化が必要
【9-2】未来を先導する社会実装の推進	計画が予定を超えて進捗している
【独自の行動計画】研究コミュニティの創出	計画が予定通り進捗している
<附属学校>	
【10-1】実践的な実習・研修の場の提供	計画の達成に向け強化が必要
【10-2】地域における先導的な教育モデルの開発	計画が予定通り進捗している
<医療>	
【11-1】高度先進医療の提供	計画が予定を超えて進捗している
【11-2】地域と連携した医療人の養成	計画の達成に向け強化が必要
<業務運営>	
【独自の行動計画】法令遵守、ハラスメントの無いキャンパスの創成	計画の達成に向け強化が必要
【12-1】内部統制機能の実質化	計画の達成に向け強化が必要
【12-2】学内外の知見を法人経営に活かす取組	計画が予定通り進捗している
【13-1】施設マネジメントの機能強化	計画の達成に向け強化が必要
【13-2】地域を活性化する公共財としての大学資産活用	計画が予定通り進捗している
【14-1】安定的な財務基盤の確立	計画の達成に向け強化が必要
【14-2】学内資源配分の最適化	計画が予定通り進捗している
【15-1】自己点検・評価の法人経営への活用	計画が予定通り進捗している
【15-2】ステークホルダーとの対話の推進	計画が予定を超えて進捗している
【16-1】全学一丸となったデジタルトランスフォーメーションの推進	計画が予定通り進捗している
【16-2】情報マネジメント体制の更なる強化	計画が予定を超えて進捗している
【16-3】真に働きやすい大学の実現	計画の達成に向け強化が必要
<人事に関する計画>	
(1)コンプライアンスに関する計画	計画が予定通り進捗している
(2)安全管理に関する計画	計画が予定通り進捗している
(3)マイナンバーカードの普及促進に関する計画	計画が予定通り進捗している